

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | | | |
|-----------|---------------------|--|------------------------------|
| 製品名 | ECOCOOL GLOBAL 1000 | | |
| SDS番号 | S811505-003 | | |
| 作成日 | 2023/10/25 | | |
| 改訂日 | 2025/04/07 | | |
| 供給者の会社情報 | 会社名 | : フックスジャパン株式会社 | |
| | 住所 | : 東京都港区虎ノ門5-12-1, 虎ノ門ワイコービル5F | |
| | 電話番号 | : 03-3436-8303 | |
| 製造業者の会社情報 | 会社名 | : FUCHS LUBRICANTS (CHINA) LTD. | |
| | 住所 | : No. 888 Jiaxiu Road, High Tech Zone, Nanxiang, Jiading, Shanghai 201802, P.R CHINA | |
| | 電話番号 | : +86 (0)512 6309 5222 | FAX番号 : +86 (0)512 6309 5204 |
| | 緊急時の電話番号 | : +86 (0)532 8388 9090 | |
| 推奨用途 | 潤滑剤(カタログを参照して下さい) | | |
| 使用上の制限 | 推奨用途以外には使用しないこと | | |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激 : 区分2
 刺激性

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分3
 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分3

上記に記載されていないGHS分類項目は、『分類できない』、又は『区分に該当しない』のいずれかに該当する。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: 強い眼刺激 (H319)
 : 長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き

安全対策 : 取扱後は製造業者、供給者又は所管官庁が指定する取扱い後に洗浄する体の部分をよく洗うこと。(P264)
 : 環境への放出を避けること。(P273)
 : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
 応急措置 : 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

: 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
(P337+P313)

廃棄：内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

| 成分名 | 含有率(%) | CAS RN® | 官報公示整理番号 | | 化管法 |
|----------------|--------|---------|----------|-----|-----|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| 鉱油 | 10-20 | 非開示 | 9-1692 | — | — |
| N-メチルジエタノールアミン | 5-10 | 非開示 | — | — | — |
| 窒素系化合物 | 1-5 | 非開示 | 非開示 | — | — |

その他の成分は、企業秘密のため記載しない。

4. 応急措置

- 吸入した場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合：情報なし
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
：次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
。その後も洗浄を続けること。
：眼の刺激が持続する場合は、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：情報なし
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項：情報なし
- 医師に対する特別な注意事項：情報なし

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
- 使ってはならない消火剤：情報なし
- 火災時の特有の危険有害性：情報なし
- 特有の消火方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。
：容器が熱に晒されているときは、移動しない。
：安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：全ての着火源を取り除く。
：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
：関係者以外の立入りを禁止する。
：密閉された場所に立入る前に換気する。

| | |
|-----------------|--|
| 環境に対する注意事項 | : 情報なし |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : 不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。 : 危険でなければ漏れを止める。 |
| 二次災害の防止策 | : 情報なし |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|----------|---|
| 技術的対策 | : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 |
| 安全取扱注意事項 | : 消防法の規制に従う。 : 炎や高温のものから遠ざけること。 : 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 : 眼に入れないこと。 |
| 接触回避 | : 情報なし |
| 衛生対策 | : 情報なし |

保管

| | |
|-----------|--------------|
| 安全な保管条件 | : 消防法の規制に従う。 |
| 安全な容器包装材料 | : 情報なし |

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 取扱い場所の近くに、眼及び身体の洗浄設備の設置を推奨
蒸気、ミスト、煙等が発生する場合、発生源の密閉化や排気装置の設置を推奨
屋内で使用する場合、適切な局所排気装置又は換気設備の設置を推奨
局所排気装置又は換気設備を設置する場合は、必要に応じて防爆型を用いること。

保護具

| | |
|------------|---------------------|
| 呼吸用保護具 | : 適切な呼吸器保護具を着用すること。 |
| 手の保護具 | : 適切な保護手袋を着用すること。 |
| 眼、顔面の保護具 | : 適切な眼の保護具を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 適切な保護衣を着用すること。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------------|--------|
| 物理状態 | : 液体 |
| 色 | : 黄褐色 |
| 臭い | : 特異臭 |
| 融点／凝固点 | : 情報なし |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲 | : 情報なし |
| 可燃性 | : 情報なし |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | : 情報なし |
| 引火点 | : 情報なし |

| | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 自然発火点 | : 情報なし |
| 分解温度 | : 情報なし |
| pH | : 9.3(5%希釈水溶液) |
| 動粘性率 | : 情報なし |
| 溶解度 | : 水に可溶 |
| n-オクタノール／水分配係数 (log 値) | : 情報なし |
| 蒸気圧 | : 情報なし |
| 密度及び／又は相対密度 | : 0.99g/cm ³ (15°C) |
| 相対ガス密度 | : 情報なし |
| 粒子特性 | : 情報なし |
| その他のデータ | : 情報なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-------------------------------|
| 反応性 | : 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。 |
| 化学的安定性 | : 情報なし |
| 危険有害反応可能性 | : 情報なし |
| 避けるべき条件 | : 情報なし |
| 混触危険物質 | : 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | : 情報なし |

11. 有害性情報

| | |
|------------------|---|
| 急性毒性（経口） | 情報なし |
| 急性毒性（経皮） | 情報なし |
| 急性毒性（吸入：気体） | 情報なし |
| 急性毒性（吸入：蒸気） | 情報なし |
| 急性毒性（吸入：粉塵ミスト） | 情報なし |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 情報なし |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 窒素系化合物 : 区分1 |
| | N-メチルジエタノールアミン : 区分2B ウサギの試験で充血、腫脹、結膜出血、角膜混濁（DFGOT vol.9（1998））が見られ、8日目に回復したことにより区分2Bとした。 |
| 呼吸器感作性 | 情報なし |
| 皮膚感作性 | 情報なし |

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

情報なし

生殖毒性／授乳への影響

情報なし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

情報なし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

情報なし

誤えん有害性

情報なし

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）

N-メチルジエタノールアミン : 区分3 藻類（セネデスマス）の96時間EC50 = 20 mg/L（IUCLID, 2000）から、区分3とした。

水生環境有害性 長期（慢性）

N-メチルジエタノールアミン : 区分3 急性毒性区分3であり、急速分解性がない（難分解性、BODによる分解度：22、0、0%（既存点検，2005））ことから、区分3とした。

オゾン層有害性

情報なし

生態毒性・魚毒性

: 情報なし

生態毒性・無脊椎動物毒性

: 情報なし

生態毒性・藻類毒性

: 情報なし

残留性・分解性

: 情報なし

生体蓄積性

: 情報なし

土壤中の移動性

: 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

: 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

: 焼却処理をする場合には、引火性物質を含むので注意して行う。

汚染容器及び包装

: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、廃棄物処理法及び関連法規ならびに地方自治体の基準に従い処理する。

1 4. 輸送上の注意

国連番号

: 非該当

品名（国連輸送名）

: 非該当

国連分類

: 非該当

容器等級

: 非該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

: 情報なし

